



びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌

## Contents

プロデュースオペラ『ニュルンベルクのマイスタージンガー』… P2・3  
オペラへの招待 林光作曲『森は生きている』…………… P4・5  
びわ湖ホール声楽アンサンブル・ニュース …………… P6  
びわ湖ホール・ニュース …………… P7  
この冬は子どもたちと一緒に楽しもう! …………… P8  
びわ湖ホールインフォメーション…………… P9  
えいじゃに・滋賀県立文化産業交流会館より …………… P10・11  
劇場・舞台芸術の力 …………… P12

さあ いかかかな この大胆な  
奇想天外なアイデアは!



びわ湖ホール プロデュースオペラ

ワーグナー作曲

# ニュルンベルクのマイスタージンガー

新制作

全3幕

ドイツ語上演・日本語字幕付

《セミ・ステージ形式》

(演奏会形式に映像を使用、照明など演出効果を加えた上演形式)

## びわ湖ホールワーグナーシリーズが『マイスタージンガー』で完結

今回の『ニュルンベルクのマイスタージンガー』をもって、びわ湖ホールでは、ワーグナー作品上演の聖地と呼ばれるドイツのバイロイト音楽祭で作曲家自身が上演を推奨した10作品全ての上演が完結します。

### 『ニュルンベルクのマイスタージンガー』とは

1867年に着想から20年をかけて完成した喜劇的オペラ。『トリスタンとイゾルデ』(1859年)に続いて完成され、68年6月にミュンヘン・バイエルン宮廷歌劇場でハンス・フォン・ビューローの指揮で初演。

この作品では、職人の親方のマイスター役として12人、さらに騎士ヴァルターやヒロインのエファなど5人、計17人の主役級の歌手を揃えなければならないことから、世界でも上演は容易ではなく、関西での国内プロダクションでは初の上演となる。



1493年に描かれたニュルンベルクの町

### あらすじ

靴屋の親方ハンス・ザックスは、妻を亡くし、靴屋と詩人として活躍するマイスタージンガー。隣に住む若い娘エファに好意を持っているが、エファの父ボーグナーは「歌合戦で勝利したマイスターに娘を嫁がせたい」と思っている。エファと恋に落ちた若い騎士ヴァルターは歌合戦に参加する資格がなく、マイスター試験を受けるが失敗。結婚できないと悲観した若い2人は駆け落ちしようとするが、ザックスが引き留める。そして歌合戦の日、ザックスの機転により、ヴァルターは「歌う権利」を与えられ、見事優勝する。皆で芸術を称え、幕となる。

### Cast



ハンス・ザックス  
青山 貴



©Takafumi Ueno  
ファイブ・ボーグナー  
妻屋 秀和



クントツ・フォルゲル  
村上 公太



コンラート・ナハイカ  
近藤 圭



シクスト・ベックメッサー  
黒田 博



©Dario Acosta  
フリッツ・コートナー  
大西 宇宙



ハルトザール・ツォルン  
チャールズ・キム



ウルリヒ・アイスリンガー  
チン・ソンウン



アウクステン・キーマー  
高橋 淳



ヘルマン・オルテル  
友清 崇



ハンス・シュヴァルツ  
松森 治



ハンス・フォルツ  
斎木 健詞



マルク・ファン・シット  
福井 敬



タフト  
清水 徹太郎



©Takumi  
エファ  
森谷 真理



マグダレーネ  
八木 寿子



©Taro Morikawa  
夜驚  
平野 和

※…びわ湖ホール音楽アンサンブル/ソロ登録メンバー

2023年3月2日(木)・5日(日)  
両日とも13:00開演【大ホール】

指揮:沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督)  
ステージング:栗國 淳  
合唱:びわ湖ホール音楽アンサンブル  
管弦楽:京都市交響楽団

SS席18,000(17,000)円 S席15,000(14,000)円  
A席12,000(11,000)円 B席8,000(7,000)円  
C席6,000円 D席4,000円 U30席(30歳以下)3,000円  
U24席(24歳以下)2,000円 ※ ( )内はびわ湖ホール友の会会員料金

チケット好評発売中 青少年割引券あり

SS席、C席、D席 取扱終了

### チャールズ・キム テノール・リサイタル

バイロイト音楽祭などで活躍、今回の「マイスタージンガー」では、ツォルン役で出演。ドイツ・オペラ界で認められた俊英が輝かしい声を駆使して「ドイツの魂」ともいえる作品を披露します。

2023年2月4日(土) 14:00開演【小ホール】

出演:チャールズ・キム  
ピアノ:河原忠之

一般3,000円  
青少年(25歳未満)1,500円

チケット好評発売中

【プログラム】  
ベートーヴェン:歌曲集「はるかなる恋人に寄す」  
シューベルト:歌曲集「美しき水車小屋の娘」(抜粋)  
シューマン:歌曲集「詩人の恋」 ほか



沼尻 竜典



栗國 淳



チャールズ・キム

## 沼尻竜典とびわ湖ホールがワーグナーシリーズでわが国に遺したもの 中村孝義(大阪音楽大学理事長、名誉教授)

来年3月に、ワーグナーの楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』を振って、これまでの16年に亘る在任期間の中で、ワーグナー自身がバイロイトで上演することを許可した10本のオペラ全てを上演し終え、それとともに沼尻竜典芸術監督の在任も終わりを告げる。早いもので、芸術監督着任直後のツェムリンスキーの『こびと』やR.シュトラウスの楽劇『ばらの騎士』で新時代が幕を切って落としたと思ってから、もう16年も経つのだと思うと言えない感慨に捉われる。とてもそんなに時間が経ってしまったとは思えないからだ。それほど沼尻の在任期間は充実を極めた。

もちろん前任の若杉弘も、ヴェルディの日本初演作品シリーズで一世を風靡したが、沼尻は自ら創設したオペラセレクションで多様なオペラを手掛けながらも、いつしかワーグナーの10作品を上演することに照準を絞り、それを完遂するという、わが国の他の劇場でなされたことがないことをやってのけたのだ。彼がびわ湖ホールで初めてワーグナーを取り上げたのは音楽監督4年目の2010年の『トリスタンとイゾルデ』だった。その時は、何と初めからワーグナーの最も難しい本丸の一角に切り込むのかと驚いたが、その出来が非常に素晴らしく、沼尻がいかにワーグナーを深く研究していたか、スコアを精細に読み込んでいたかを知るとともに、またワーグナーとの相性の良さもくっきりと浮かび上がらせた。沼尻はこの成功で、恐らく若杉のヴェルディに對峙するものとして、びわ湖ホールでの自分の使命をワーグナーと決断したのだと思う。

2年後の『タンホイザー』やその翌年の『ワルキューレ』でさらに自信を深めた沼尻は、その2年後の『さまよえるオランダ人』を上演するに際して、恐らくワーグナー全10作品上演完遂の構想を慎重に練っていたに違いない。そしてそれ以降は毎年1本ながら、〈ニーベルングの指環〉4部作、『ローエングリン』、『バルジファル』と続けてきたこの壮大な上演史が、『マイスタージンガー』によっていよいよ大団円を迎えることになる。まさにこのシリーズの総決算として、彼らがこれまで培ってきた総力を結集した、まさに歴史に残る舞台となるに違いない。

彼とびわ湖ホールが続けてきたこのワーグナー上演がわが国にもたらした意味は小さくはない。日本のオペラや歌手を起用してはとて無無理だと思われていたことでも、芸術監督とホールの「志の高さ」があれば、ヨーロッパに匹敵するような質を持った舞台が可能となること。彼らはそれをまさに目の当たりにさせてくれ、日本の音楽界に大きな衝撃と勇気を与えてくれたのだ。このレガシーを単にレガシーとして記憶に留めるだけでなく、再演も含めてどのように生かしていくかは、ホールの、さらに次期芸術監督の、さらには日本の音楽界の、またそれを支える諸機関の責務でもある。それをしっかりと見守っていきたいと思っている。



ニュルンベルクにあるハンス・ザックスの像

### びわ湖ホール ワーグナーオペラ上演史

2010年10月	『トリスタンとイゾルデ』
2012年 3月	『タンホイザー』
2013年 9月	『ワルキューレ』
2016年 3月	『さまよえるオランダ人』
2017年 3月	《ニーベルングの指環》 『ラインの黄金』
2018年 3月	《ニーベルングの指環》 『ワルキューレ』
2019年 3月	《ニーベルングの指環》 『ジークフリート』
2020年 3月	《ニーベルングの指環》 『神々の黄昏』
2020年 3月	『ローエングリン』 (セミ・ステージ形式)
2021年 3月	『バルジファル』 (セミ・ステージ形式)

### 『ニュルンベルクのマイスタージンガー』をより深く楽しむために

#### ●オペラ講座『ニュルンベルクのマイスタージンガー』(初級編/全2回)

映像や音楽を交えながら、本公演を存分に予習していただけます。

第1回/2023年1月8日(日) 14:30~16:30

~ワーグナーの舞台作品の中では珍しい喜劇~

第2回/2023年1月22日(日) 9:45~11:45

~ただの喜劇とは違う、その複雑な政治性~

講師:東条碩夫(音楽評論家) 会場:コラボしが21 3階大会議室

全2回通し券:2,000円(取扱終了) 1回券(当日残席がある場合のみ販売):1,500円(自由席)

#### ●ワーグナー・ゼミナール(上級編/全3回)

ワーグナー研究の第一人者である講師を迎え、専門家ならではの

視点を交えて『ニュルンベルクのマイスタージンガー』を解説します。

第1回/2023年1月21日(土) 14:00~16:45 『マイスタージンガー』の音楽を読む

講師:岡田安樹浩(国立音楽大学講師/音楽学)

第2回/2023年2月12日(日) 14:00~16:45 作品の成立事情とテキスト解説

講師:伊東史明(ドイツ文化史研究家)

第3回/2023年2月23日(木祝) 14:00~16:45 『マイスタージンガー』の思想的背景

講師:藤野一夫(芸術文化観光専門職大学副学長/音楽文化論・文化政策)

会場:第1回、第2回/リハーサル室 第3回/コラボしが21 3階大会議室

全3回通し券:3,000円 1回券(当日残席がある場合のみ販売):1,500円(自由席)

#### ●ブレイク・マチネ

3月の公演に先立ち、指揮者、評論家が作曲家や作品の背景を中心にわかりやすく解説し、聴きどころや見どころを紹介します。

2023年1月14日(土)

11:00~12:30 [中ホール]

出演:沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督)

岡田暁生(京都大学教授)

参加費:無料(事前申込不要)

#### ●オペラ・ワークショップ

本番を控えた会場で、今回の演出などについてお話をします。

2023年3月5日(日)

9:45~ [大ホール]

出演:栗國 淳(演出家)ほか

参加料:1,000円(『マイスタージンガー』の公演チケット提示の方は無料)

# 森は生きている

林 光作曲

オペラ

全2幕

(室内オーケストラ版 / 日本語上演・日本語字幕)

つき  
~12の月のすてきなプレゼント~



指揮を務める  
沼尻竜典  
よりメッセージ



沼尻竜典

声楽アンサンブルがお贈りする〈オペラへの招待〉。今回は豪華キャストが揃っております。  
1月26日、28日は現役メンバーを中心としたキャスト、1月27日と29日には、卒業生を中心とした、いわば同窓会キャストとなっております、どちらの日も素晴らしい公演になると思います。  
この林 光先生の『森は生きている』は、オリジナルはピアノ伴奏でしたが、びわ湖ホールの公演のために室内オーケストラ版を作ってくださいました。私は、2000年室内オーケストラ版の初演の指揮をしており、大変思い入れの強い作品です。今では林 光先生が芸術監督を務められた「こんにやく座」もびわ湖ホールの室内オーケストラ版で演奏するようになり、それがちょっと自慢です(笑)  
大変分かりやすいストーリーで、メロディーも親しみやすく、昔は“歌ごえ喫茶”でもこのオペラのナンバーが、何曲も歌われていたという、いまや昭和ノスタルジーを感じる作品です。私も昭和の男です、非常に親しみを感じながら稽古を進めています。  
ぜひ、劇場でご覧になってください。

びわ湖ホール オペラへの招待  
林 光作曲 オペラ『森は生きている』

2023年1月26日(木)・27日(金)  
28日(土)・29日(日)

各日とも14:00開演 [中ホール]

一般6,000(5,500)円  
青少年(25歳未満)2,000円  
シアターメイツ1,000円  
※( )内は友の会会員料金

原作:サムイル・マルシャーク  
訳:湯浅芳子  
台本・作曲:林 光  
オーケストレーション:吉川和夫

指揮:沼尻竜典  
演出:中村敬一  
ピアノ:渡辺治子  
管弦楽:日本センチュリー交響楽団

(CAST)	1/26(木)・28(土)	1/27(金)・29(日)
1月・総理大臣	市川敏雅	平 欣史
2月・廷臣	藤居知佳子	奥本凱哉
3月・リス・オオカミ・廷臣	坂田日生	船越亜弥*
4月・カラス・警護隊長	有本康人	清水徹太郎*
5月・ウサギ・もう一人の 兵士・大使夫人・廷臣	藤村江李奈*	大川 蘭*
6月・もう一人の娘・ リス・廷臣	山岸裕梨	森 季子*
7月・むすめ・廷臣	脇阪法子	熊谷綾乃
8月・女官長・オオカミ	阿部奈緒	中嶋康子*
9月・おっ母さん・廷臣	山田知加	益田早織*
10月・女王	山際きみ佳*	佐藤路子*
11月・兵士	谷口耕平	宮城朝陽
12月・博士・古老	美代開太	松森 治*

\*びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

兵庫でも上演します!

日本オペラプロジェクト2023  
林 光作曲 オペラ『森は生きている』  
2023年3月25日(土)・26日(日)  
両日とも14:00開演  
兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール  
お問い合わせ:芸術文化センターチケットオフィス  
TEL.0798-68-0255  
(10:00~17:00 月曜休み、祝日の場合は翌日)

あ  
ら  
す  
い



ある国のおおみそか。  
わがままな女王が気まぐれに“おふれ”をだしました。  
「かぞいっぱいマツユキ草を新年までに届けた者には  
ほうびを与える」



ほうびに目がくらんだおっ母さんに言いつけられ、むすめは、  
冬に咲くはずのないマツユキ草を探しに雪深い森へ出かけます。  
そこで出会ったのは12の月の精たち。心優しいそのむすめの  
ために4月の精は、ほかの月の精たちに頼んで1時間だけ「時」  
をゆずってもらいます。

## キャストに インタビュー

Q1 ご自身の演じる役は、どのような役だと思いますか? //

有本(4月の精)

とてもまっすぐな性格の役だと思います。人ではなく精霊なので混じり気のない純粋な愛を具現化したような歌を表現したいと思っています。

熊谷(むすめ)

自分自身を投影しやすい役です。しかしそれと同時に、誰にとっても「あっ、私だ。」と思える役でもあると思います。それだけ守備範囲の広い役なのではないでしょうか。

山際(女王)

とても寂しい少女だと思います。むすめは不幸な境遇にありますが、人にとって本当に大切なことを知っています。でも、女王はそれに気付くことなく14年間生きてきたのです。何でも手に入ることは幸せなことなのか、真の豊かさとは何か、考えさせてくれる役です。

Q2

『森は生きている』の中で1番好きなシーンは? //

有本(4月の精)

4月の精とむすめのデュエットのシーンです。歌詞にもあるように一瞬の時間が愛によって永遠に引き延ばされたように感じられる美しいシーンです。

熊谷(むすめ)

1幕冒頭、『森は生きている』のテーマソングを歌った後に、12の月の精に変身するところです。土着の文化を感じさせる力強い低音の後、12の月の精によるサークルが登場します。イギリスのストーンサークルにもあるように、世界共通の何か神秘的なものを感じずにはいられません。

山際(女王)

たくさんあって選ぶのが難しいですが、女王としてはストーリーの最後にやっと素直になれて、むすめと友達になれるシーンが一番思い入れがあります。

Q4

『森は生きている』という作品について //

有本(4月の精)

自然の理を捻じ曲げてしまう危うさ、むすめや女王が成長していく様を見て、今一度自分自身を見つめ直すきっかけを与えられる作品であると思います。

熊谷(むすめ)

びわ湖ホールの開館当初から繰り返し上演している大切な演目です。練習している時、不意に先輩が歌われていた音楽が蘇ってくることがあります。このびわ湖ホールで歌い継がれている音楽をお楽しみいただければ幸いです。

山際(女王)

声楽アンサンブルにとって代々引き継がれてきた宝物のようなレパートリーです。今回は現役メンバーに加え、歴代の「森生き」を作り上げてきたたくさんの卒園生が出演しますので、温故知新の精神で最高の舞台を皆さんにお届けします!



Q3  
ころがれ ころがれ  
ゆびわよ!  
すると雪は消え、目の前には  
たくさんのマツユキ草が...!  
マツユキ草を手に入れたむすめは、  
12の月の精の秘密を  
誰にも話さないと約束し、  
4月の精に指輪をもらい帰ります。

マツユキ草を渡された女王は、廷臣たちが引きとめるのにきかかわらず、自らマツユキ草を摘むために、むすめの指輪を持って吹雪の森へと出かけていきます。  
そこで冬の森の厳しい寒さや大変な経験を経て、女王は大切なことを学ぶのでした。

子どもたちへ歌声を届けに行ってきました!

9~10月 ふれあい音楽教室

未来を担う子どもたちに豊かな心を育ててもらおうと、毎年行っている「ふれあい音楽教室」。2022年度は県内35の小学校で、びわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバー2人とピアニスト1人が音楽の授業を行いました。オペラの公演写真を見せたり小道具を活用したりと、メンバーそれぞれのアイデアが詰まった楽しい授業で子どもたちを魅了しました。



9月28日 長浜市立南郷里小学校にて

10~12月 オペラ「泣いた赤おに」巡回公演

出演者11名と舞台スタッフ10名の総勢21名のチームで、滋賀県内の9校と4つのホール、北陸地方の7校を訪れ、4,000人を超える子どもたちに、赤おにと青おにの友情の物語をお届けしました。



11月10日 守山市民ホール公演より おにの口の門をくぐり、「赤おに」の世界へGO!

11月8日 米原公演 終演後にインタビュー!!@滋賀県立文化産業交流会館



**岩見あかりさん(5歳) 写真左**  
青おにさんの自転車(三輪車)が面白かった。歌がよかったので楽しかった。  
**宮本かよ美さん(祖母) 写真右**  
ここ(文産会館)にはあまり来る機会がなかったけれど、以前大津に住んでいた頃、声楽アンサンブルの公演を聴いて良かったので、子どもにも見せたいと、幼稚園が終わってから連れて来ました。

公演はいかがでしたか

米原公演には、米原市立山東小学校の児童39名も「びわ湖の精」役で出演しました



**米原市立山東小学校 4年 三浦菜緒さん**  
オペラに出演したのは初めてです。たくさん練習しました。オペラは見るのも初めてでしたが、楽しかったです。これからも出ることができればいいなと思います。出ている人の声がきれいで大きくてすごい、自分もあんなふうに歌えたらと思います。

定期公演を行いました!

9月10日(土)・19日(月)祝

第75回定期公演・東京公演vol.13 音楽史の小径~イタリア古典歌曲から辿る~

本山秀毅の指揮で、イタリア歌曲の世界をご紹介します。チェンバロやレガール(びわ湖ホール公演のみ)など珍しい鍵盤楽器も登場し、イタリア古典歌曲の響きを存分にお楽しみいただきました。



9月19日 東京文化会館 小ホールにて

11月19日(土)

第76回定期公演 プッチーニ作曲 歌劇「ジャンニ・スキッキ」(演奏会形式)

大川修司の指揮、中村敬一の構成で、プッチーニの「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」の抜粋と、「ジャンニ・スキッキ」を演奏会形式でお届けしました。メンバー同士でも主体的にアイデアを出し合い、衣裳や小道具、照明・映像演出も付いた、びわ湖ホール声楽アンサンブル「らしさ」の溢れる舞台となりました。



父ジャンニ・スキッキ(中央:市川敏雅)に結婚の許しを請う娘ラウレッタ(山岸裕梨)

Congratulations!

益田早織(メゾソプラノ)

第91回日本音楽コンクール声楽部門で入選!

びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーとして活躍する益田早織が、若手演奏家が競う日本最高峰の「日本音楽コンクール」で見事入選。本選の演奏を終えた益田は、「言語や国も違う様々な歌曲を通して、新しい世界を沢山見ることができたこと、そして再び本選で演奏させていただいたことに心から感謝しています。私はこれからも自分の信じる歌を歌い続けます。皆さま、改めて応援していただきありがとうございました。」と語りました。



11月16日 表彰式にて

船越亜弥(ソプラノ)

令和4年度滋賀県次世代文化賞を受賞!

国内外のコンクールで最優秀賞等の成績を収め、将来を一層期待される個人または団体に贈られる「滋賀県次世代文化賞」を、びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーの船越亜弥が受賞しました。受賞を受けて船越は「この度は大変栄誉ある賞をいただき、光栄に思います。びわ湖ホールの皆さま、先生方、家族や友人、その他関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。この賞に恥じないようこれからも精進いたしますので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。」とコメントを寄せました。



船越亜弥

今ももっとも輝く船越が贈るコンサート

気軽にクラシック33 船越亜弥 今届けたい歌

2023年1月22日(日) 14:00開演【大ホール】  
一般1,000円 [チケット好評発売中]

[曲目]  
ヴォルフ: 祈り、隠棲  
小林秀雄: 落葉松  
カタラーニ: さよなら故郷の家よ ほか

01 「北村朋幹 × ジョン・ケージ」演奏会 滋賀県立美術館とのコラボレーションを行いました。

2022年10月8日に滋賀県立美術館エントランスロビーで、びわ湖ホールと滋賀県立美術館の連携企画「北村朋幹×ジョン・ケージ」演奏会を行いました。

翌9日のびわ湖ホールでのリサイタルを控えた北村朋幹が、プリバード・ピアノ(ピアノの弦にゴムや金属、木などを挟み加工して響きを変換したもの)のために書かれた20世紀作曲家の巨匠ジョン・ケージの「プリバード・ピアノのためのソナタとインターリュード」を11時からと14時からの2回演奏しました。

ピアノに細工を施すことで、滅多に演奏機会のない作品であるために、9時半の開館と同時に詰めかけた方もいらっしゃるなど、立ち見を含め各回100人以上の方が、75分を要する長大な作品に、耳を傾けられていました。(裏表紙にも演奏風景の写真あり)



プリバード・ピアノを弾く北村

02 滋賀県文化賞をびわ湖ホール芸術監督の沼尻竜典が受賞しました。



沼尻竜典

滋賀県が文化活動で長年にわたり優れた業績を挙げた個人・団体をたたえる本年度の県文化賞を、芸術監督の沼尻竜典が受賞しました。平成19年に滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール第2代芸術監督に就任して以降、オペラをはじめとする数多くの公演を成功に導き、文化庁芸術祭優秀賞を受賞するなどその手腕が高く評価されています。

また、オペラ指揮者セミナーを開催し人材育成に取り組むほか、平成30年からは「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」をプロデュースし、気軽に音楽を楽しめる環境を県民に提供するなど、本県の芸術文化振興に大きく貢献しています。平成29年には紫綬褒章を受章しました。

さらに、令和2年にコロナ禍で開催された楽劇「神々の黄昏」の無観客公演は、ライブストリーミング配信され、世界30か国で約41万人が視聴し、大きな話題を呼びました。その成果によりびわ湖ホールは第68回菊池寛賞、第33回ミュージック・ベンクラブ音楽賞(オペラ・オーケストラ部門)を受賞した。11月8日に行われた贈賞式に沼尻は都合で出席できませんでしたが、次のコメントが読み上げられました。

「舞台を作る作業は、出演者チームと制作チームが自転車の両輪のように一緒に協力して進めて行きます。今回は私が両チームを代表して賞をいただいたのだと考えています。最近オペラの現場は以前より多くの困難を抱えています。逆風の中にあっても、びわ湖ホールが県の文化の核として変わらず賑わい、日本のオペラ界の変革をうながす増波装置として機能し、世界レベルの舞台を作る場所としてさらに発展して行くことは間違いないと思っています」(コメントより抜粋)

03 令和5年度 自主事業ラインアップ発表 を行いました。

11月28日、大ホールホワイエで、令和5年度自主事業ラインアップ発表を行いました。出席者は、令和5年度からびわ湖ホール芸術監督に就任するびわ湖ホール芸術参与の阪 哲朗、びわ湖ホール館長 村田和彦、びわ湖ホール総括プロデューサー 館脇 昭の3名。

会見では阪より「2023年4月に第3代芸術監督に就任するにあたり、初の地元在住の芸術監督として、とにかく『ここに劇場があって良かった』と提供いただける場所にしたいです。そして、ドイツ・スイスの劇場等で指揮した多くの経験を活かして、人材育成の面において「世界のスタンダード」を見据えた活動を展開していきます」とあいさつ。自らの取り組みを以下の7つの項目に絞って説明しました。(詳細は次号)

- 劇場専属「声楽アンサンブル」の育成強化
- オペラセミナーで育成枠を拡大
- 「びわ湖の春 音楽祭」をG.W.に開催
- 「音楽会へ出かけよう!(ホールの子事業)」を指揮
- びわ湖ホールプロデュースオペラの新制作上演
- 6年ぶりとなる国内共同制作オペラ、演出に野村萬斎
- 「オペラへの招待」初の1演目6公演実施



写真:左から びわ湖ホール館長 村田、次期芸術監督 阪、びわ湖ホール総括プロデューサー 館脇

令和5年度の主な公演(詳細はホームページをご確認ください。)

- びわ湖の春 音楽祭2023【テーマ】“ウィーンの風”
  - プロデュースオペラ R.シュトラウス作曲「ばらの騎士」
  - 共同制作オペラ J.シュトラウスⅡ世作曲「こうもり」
  - 開館25周年記念事業 オペラ・ガラコンサート
  - オペラへの招待 モーツァルト作曲「フィガロの結婚」
  - 東京バレエ団 子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」
  - 木ノ下歌舞伎「糸井版摂州合邦辻」
- はじめ有料公演:31事業55公演 普及事業:14事業、91公演

# この冬は子どもたちと一緒に楽しもう!

この冬は大人も子どもも楽しめる公演が盛りだくさんです。このページでは、各公演情報をご紹介します。シアターメイツ対象公演もありますので、お気軽にお越しください。

一流のパフォーマーたちが立ち上げる名作物語の世界。ノンバーバルでどなたでも楽しめる!

## ダンス

### KAAT「星の王子さま ―サン=テグジュペリからの手紙―」

この舞台を子どもたちのためだけでなく、かつては子どもだった大人たちに届けたい。TOKYO2020 パラリンピック 開会式演出・チーフ振付も務め話題となった森山開次が多彩な表現者とともに名作「星の王子さま」の世界を創る、大型ダンス作品です。

演出・振付・出演:森山開次  
美術:日比野克彦 衣裳:ひびのこづえ 音楽:阿部海太郎  
出演:森山開次 アイイヤマダ 小尻健太 酒井はな 島地保武 坂本美雨 ほか

2023年2月4日(土) 15:00開演 [中ホール]  
2023年2月5日(日) 14:00開演

S席5,500(5,000)円 A席4,500(4,000)円  
青少年(25歳未満):2,000円 4歳以上入場可

#### 多言語のチラシを配布中!

やさしい日本語・英語・中国語で、公演をご紹介したチラシを配布しています。いろいろな方に、いろいろな見方で鑑賞いただきたい作品です。



森山開次 ©SadatoshiZUKA

京都市交響楽団のメンバーによる気軽に名曲を楽しめるステージ!

## アンサンブル



### 気軽にクラシック34 京都市交響楽団メンバーによるアンサンブル 京都しんぷおにえった

京都市交響楽団メンバーにより「音楽を編曲・創作し楽しむこと」をモットーに結成されたユニットが登場。大満足間違いなしの1時間です。

出演:京都しんぷおにえった ゲスト:山本康寛(テノール)  
[曲目] プラムス:ハンガリー舞曲 第5番  
「バツヘルベルのカノン」の主題による変奏曲  
レハール:喜歌劇「微笑みの国」より「君は我が心のすべて」(テノール:山本康寛)  
モンティ:チャルダッシュ  
ピアノ:リハバルタンゴ  
ロイド・ウェバー:ミュージカル「オペラ座の怪人」より序曲 ほか

2023年2月11日(土・祝) 14:00開演 [中ホール]

一般1,500円 6歳以上入場可



京都市交響楽団メンバーによるアンサンブル 京都しんぷおにえった

## ピアノ・デュオ

2台のピアノで繰り広げるワンダーランド

### 176 アン・セツ・シス

作曲家・ピアニストの山中惇史と高橋優介により結成されたユニットが登場。クラシックの名曲やオリジナル編曲の映画音楽などをお贈りします。88鍵×2台、176個の鍵盤で奏でる音の世界をお楽しみください。

出演:山中惇史、高橋優介(ピアノ)

[曲目] モーツァルト:2台のピアノのためのソナタ K.448 二長調  
レスピーギ(山中・高橋編):ローマの松  
岡野貞一(三善晃編):臘月夜  
J.ウィリアムズ(山中編):映画「ハリウッド・ポッター」シリーズより ほか

2023年2月18日(土) 14:00開演 [中ホール]

一般3,000円  
青少年(25歳未満)1,000円  
シアターメイツ500円

左より高橋優介、山中惇史(ピアノ) ©TakalumiUeno

## マークの公演はシアターメイツ対象公演です。

シアターメイツとは?

子どもの頃から上質な舞台芸術に親しんでいただくため、びわ湖ホールで設けている無料の会員制度で、6歳~18歳までならどなたでもご入会いただけます。窓口・ハガキ・ホームページのいずれかでお申込みください。

### 上質な舞台公演を特別価格で

シアターメイツ優待公演を、青少年チケット料金の半額でご覧いただけます。年間を通して多数の公演が対象になっています。



### 限定イベントにも参加できる!

シアターメイツ会員限定のリハーサル見学会などを企画しています。

さらに!主催公演にご来場で会員証にスタンプを押しますと5個集めると素敵なグッズをプレゼント!

初めてのオーケストラ鑑賞にピッタリ! 「運命」と「新世界より」の花形2曲

## オーケストラ

### 名曲コンサート 華麗なるオーケストラの世界vol.5 ニコラス・ミルトン指揮 日本センチュリー交響楽団

オーケストラの名曲をお贈りするシリーズ。今回は一流の生演奏で聴いてほしい2曲を、ヨーロッパ各地で活躍するニコラス・ミルトンと日本センチュリー交響楽団のタッグでお届けします。

指揮:ニコラス・ミルトン [曲目] ベートーヴェン:交響曲 第5番 八短調 op.67 「運命」  
管弦楽:日本センチュリー交響楽団 ドヴォルジャーク:交響曲 第9番 ホ短調 op.95 「新世界より」

2023年2月5日(日) 15:00開演 [大ホール]

S席4,000(3,500)円 A席3,000(2,500)円  
B席2,000円 C席1,000円  
青少年(25歳未満)S~B席1,500円  
シアターメイツS~B席750円



日本センチュリー交響楽団 ©Masaharu Eguchi



ニコラス・ミルトン

ベートーヴェン:交響曲 第5番「運命」  
ジャジャジャジャー!と有名なこの曲。これは「運命がドアを叩く音」だという説があります。ベートーヴェンが耳が聞こえなくなりつつあった時期に作曲され、最も有名な交響曲の一つとなりました。

ドヴォルジャーク:交響曲 第9番「新世界より」  
この曲は、テレビのCMなどにも使われているので、聴いたことのある人が多いかもしれません。ドヴォルジャークが、当時「新世界」と言われたアメリカに滞在したときに作曲しました。

## びわ湖ホールからのお知らせ

### 「びわ湖ホール友の会」会員募集中

#### 一般会員

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、館内レストランサービス、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスを提供いたします。

年会費 2,500円(税込)

〈お問い合わせ〉 びわ湖ホールチケットセンター  
TEL.077-523-7136

#### サポート会員

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待、オペラ公演のゲネプロ(総稽古)へのご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費 一口につき10,000円(税込)

〈お問い合わせ〉 びわ湖ホールチケットセンター  
TEL.077-523-7136

#### 特別会員

びわ湖ホールの舞台芸術に関する事業に賛同し、これを支援して下さる企業・個人様向けの会員制度です。

□主催公演へのご招待 □チケット優先予約・無料郵送 □ゲネプロへご招待  
□情報誌やホームページへの会員名掲載 □メインロビーへの会員名掲示 など

詳しくはホームページをご覧ください。

年会費 一口につき100,000円(税込) 入会金不要 〈お問い合わせ〉 びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部 TEL.077-523-7140

#### 《特別会員》のみなさま

アマノマネジメントサービス株式会社/綾羽株式会社/新木産業株式会社/株式会社アルファス/一圓テクノ株式会社/磯田洋三/いなみ矯正歯科/上原恵美/エクスベンサー株式会社/株式会社栄光社/SMBC日興証券株式会社大津支店/NTT西日本滋賀支店/近江精工株式会社/大岸 実/大谷 蔵公認会計士事務所/大津商工会議所/岡崎洋一/おかもと眼科クリニック/株式会社奥田工務店/オブテックスグループ株式会社/オリックス・ファシリティーズ株式会社滋賀支店/株式会社関西みらい銀行/木村水産株式会社/京都信用金庫滋賀本部/京都橋大学/株式会社きんぞん滋賀支店/株式会社キントー/草津電機株式会社/graniumieグループ/京滋舞台芸術事業協同組合/京阪ホテルズ&リゾート株式会社 琵琶湖ホテル/甲賀高分子株式会社/小高得央/株式会社コングレ/株式会社笹川組/ささなみ法律事務所/株式会社佐藤総合計画関西事務所/三精テクノロジーズ株式会社/株式会社しがぎん経済文化センター/株式会社滋賀銀行/滋賀近交運輸倉庫株式会社/滋賀県信用金庫協会/滋賀県信用保証協会/滋賀ヤサカ自動車株式会社/株式会社自然総研/株式会社清水屋呉服店/株式会社十字屋/公益財団法人秀明文化財団/株式会社昭和バル製作所/株式会社スマイ印刷/学校法人純美学園/成安造形大学/瀬田医院/ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場/株式会社ダイフク滋賀事業所/大和証券株式会社京都支店/高坂哲夫/タカヒサ不動産株式会社/高谷トマト/株式会社滋賀/ちばレディースクリニック/塚本社会保険労務士事務所/株式会社DGコミュニケーションズ/株式会社天下一品/東洋ワークセキュリティ株式会社/トヨタモビリティ滋賀株式会社レクス大津/西川 望/日新薬品工業株式会社/日本生命保険相互会社/日本ソフト開発株式会社/日本メンテナンス株式会社/日本メンテナンス株式会社大津支店/株式会社ネットワークエンジニアリング/野村證券株式会社大津支店/羽泉正浩/バウ・クリエイティブ株式会社/長谷川公認会計士事務所/パナソニックEWエンジニアリング株式会社近畿支店/公益財団法人ハッパ文化振興財団/株式会社日立建機ティエラ/株式会社ビルディング・コンサルタントワイズ/びわ湖大津プリンスホテル/琵琶湖汽船株式会社/びわこ成蹊スポーツ大学/びわ湖放送株式会社/ふくた診療所/藤井絢子/富士通Japan株式会社/兵衛製作株式会社滋賀事業所/ホテルブルーレーク大津/増山公昭/株式会社松村電機製作所関西支店/豆藤/株式会社みずほ銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社/宮川印刷株式会社/music square 芝蘭会/株式会社村田製作所野洲事業所/八百久/山科精工株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所/税理士法人山本会計/ヤンマーグローバルエクスパート株式会社/横田昌和公認会計士事務所/立命館守山中学校・高等学校/龍谷大学吹奏楽部/ロマン楽器株式会社/株式会社ワコール/渡辺朗夫

(五十音順・敬称略・一部非掲載/2022年11月15日現在)

### 舞台芸術の力でみなさまに感動と笑顔をお届けしたい! ~舞台芸術創造活動にみなさまのご支援を~

びわ湖ホールでは、誰もが身近に舞台芸術に触れられるよう、様々な事業を展開しております。質の高い舞台芸術を創造する取り組みに、皆さまの深いご理解と多くのご支援をいただきました。ご芳名はびわ湖ホールのウェブサイトにご紹介させていただいております。

素晴らしい舞台芸術を創造し、より多くの方に手軽にお楽しみいただくためには、関係者の熱意とたゆまぬ努力はもちろんのこと、皆さまの深いご理解とご支援が必要です。

「公益財団法人」である当財団へのご寄付については、税制上の優遇措置が適用されます。ウェブサイトからもお手続きいただけますので、舞台芸術の振興のため、引き続きご支援をお願いいたします。

〈お問い合わせ〉 びわ湖芸術文化財団 法人本部 営業部 TEL.077-523-7140 詳しくは、びわ湖ホールホームページをご覧ください。https://www.biwako-hall.or.jp/

こだわりの小豆のやさしい味わい

代表銘菓

かろう しょう じゅ あん 〒520-2266 滋賀県大津市大石町4-2-1  
TEL.077-546-3477(代) FAX.077-546-3480  
https://kanou.com

公式HP

はずむ心のお買物戸

平和堂

〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地  
TEL (0749) 23-3111 FAX (0749) 23-3118  
URL https://www.heiwado.jp/

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社平和堂

モデルハウス「におの浜の家」

びわ湖大津プリンスホテル住宅博

木のぬくもりあふれる暮らしをご体感ください。

木の家専門店 谷口工務店

0120-561-099

〒520-2531 滋賀県蒲生郡竜王町山之上 3409

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社木の家専門店 谷口工務店

### シアターメイツ会員募集中

6歳~18歳なら誰でも入会可! 年会費無料!

シアターメイツは子どもたちに気軽に舞台芸術を楽しんでいただく会員制度です。シアターメイツ優待公演は青少年チケット料金の半額でお楽しみいただけます。舞台芸術を「生」で観て、聴いて、心を育む体験をぜひ!

猫印の公演はシアターメイツ優待公演です。

びわ湖ホールシアターメイツ特別顧問 にかんばら先生 ©飯田佳奈子

〈ご入会方法など詳しくはホームページをご覧ください。〉

### びわ湖ホールを借りるには

びわ湖ホールでは大ホール・中ホール・小ホール・リハーサル室・練習室・研修室の貸館を行っております。音楽・演劇・舞踊など舞台芸術の公演や練習、各種大会等にご活用ください。施設利用のお申し込み方法、ご利用料金、ホールの空き状況など詳しくはお問い合わせください。

〈お問い合わせ〉 びわ湖ホール管理部 TEL.077-523-7135

※Art journeyからネーミングした「えいじやに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

## 文化産業交流会館イベントホールは 変幻自在!

当館のイベントホールは、座席が固定されていません。そのため、公演やイベントのニーズに合わせて様々な使い方が可能です。今回はユニークな一例を、ご案内します。



### 当館のイベントホールを…

上からみると…

横からみると…



当館のイベントホールは、最大2,000席の規模を活用しての人気アーティストの公演や、反響板を導入して行うクラシック音楽公演など、自主事業や貸館事業など多種多様な用途で使用されています。「来場する度に、イベントホールの雰囲気が違うな」とお気づきの方もおられるかもしれません。それを支えているのが、ロールバックという移動観覧席+平面床というイベントホールの構造です。用途に合わせて、多彩なレイアウトができるイベントホールの使用例をご紹介します!

## 1 広いアクティングエリアを活かしてのマーチングバンドの祭典

2023. 1/29

「フィールドアート2023」  
13:30開場 14:00開演



マーチングには、縦横無尽に隊列が動けるアクティングエリアが不可欠。イベントホールはそんな条件にぴったりです。その特徴を最大限に活かしたマーチングバンドの祭典が今冬行われます! 迫力満点の公演をお楽しみください。

**[今回の出演団体] (計8団体)**  
Legend of ANGELS Drum&Bugle Corps  
滋賀学園チアリーディングチーム LAKERS  
京都明徳高等学校 吹奏楽部  
近江高等学校 吹奏楽部  
梅花女子大学 チアリーディング部 RAIDERS  
京都橘高等学校 吹奏楽部  
京都両洋高等学校 吹奏楽部 Kyoto Ryoyo Windband HERZ  
JOKERS Drum&Bugle Corps

**料金** ※3歳以上有料。(3歳未満で座席が必要な場合は有料) **全席指定**  
(1階席(移動観覧席)) 一般2,000円 青少年(25歳未満) 1,500円  
(2階席) 一般1,000円 青少年(25歳未満) 800円

**プレイガイド** ※好評につき、完売いたしました  
滋賀県立文化産業交流会館(窓口・オンライン) TEL:0749-52-5111  
びわ湖ホールチケットセンター(現金・窓口販売のみ) TEL:077-523-7136  
ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード:51843)

## 2 芝居小屋「長栄座」を期間限定で再現

「長栄座伝承会 むすひ」等(8月開催)

かつて長浜に存在した芝居小屋を期間限定でイベントホール内に再現し、古典芸能を中心とした公演を披露する「長栄座」公演も、イベントホールだからこそ実現可能。イベントホール内に、芝居小屋が建て込まれるのは壮観です。



## 3 ベビーカーや車椅子のまま公演鑑賞可能!

「ぶんさん0歳児からのコンサート」(11月開催)

イベントホールは段差や傾斜のない床のため、バリアフリー!ベビーカーや車椅子のまま入場可能です。そんな特性を活かして、赤ちゃん連れでも楽しめる公演を企画しました。たくさんのベビーカーが並ぶ様子はこの会場ならではの!



## 4 演劇では、物語の世界観を表現!

「ユースシアター 森は生きている」(12月開催)

12月18日に開催したユースシアター事業「森は生きている」は、冬の森の中での物語。空間を存分に活かしたオリジナルの舞台装置で、臨場感たっぷりの雰囲気、皆様が物語の世界に誘います。



舞台セットのイメージ図

## 5 貸館ではこんな使い方!

イベントホールは、貸館でも様々な用途で活用されています! 美術展や産業展示会だけでなく、入学試験や資格試験会場として、また企業研修やスポーツ大会などにも、ニーズによって、多目的にご利用いただけます。



令和4年度滋賀県アートコラボレーション事業

## おうみ狂言図鑑2023

2023年 新作 琵琶姫 作:小佐田定雄 演出:茂山童司

滋賀・近江を題材にした「おうみ狂言図鑑」シリーズ。今回は皆様ご存じのダイダラボッチ伝説を題材に、人気の落語・狂言作家 小佐田定雄が新作狂言を執筆します。「富士山と淡路島が琵琶湖を巡って恋のバトル!選ばれるのは果たしてどちら?」新作1作品と、会場ごとに古典2作品を上演。わかりやすい解説付きで、はじめての狂言鑑賞にもおすすめです。



茂山童司

- 1 日時 2023年1月21日(土) 14:00開演  
会場 草津市立 草津クリアホール  
演目 古典:文荷/墨塗 新作:琵琶姫

草津公演終了後、新作狂言作者 小佐田定雄氏と演出の茂山童司氏のアフタートークを開催!  
対象:いずれかの公演チケット購入者 料金:無料

- 2 日時 2023年1月29日(日) 14:00開演  
会場 日野町民会館 わたむきホール虹[大ホール]  
演目 古典:清水/長光 新作:琵琶姫

- 3 日時 2023年2月19日(日) 14:00開演  
会場 愛荘町立 ハーティセンター素荘[大ホール]  
演目 古典:瓜盗人/惣八 新作:琵琶姫

- 4 日時 2023年3月26日(日) 14:00開演  
会場 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール [中ホール]  
演目 古典:磁石/泉 新作:琵琶姫



「磁石」

**出演** 茂山七五三、茂山あきら、茂山千五郎、茂山 茂、茂山千之丞 ほか  
(出演者は会場ごとに異なります)  
**入場料** 一般2,500円 25歳未満1,000円 当日券500円増  
①全席自由 ②③④全席指定 **チケット好評発売中!**  
※未就学児入場不可  
**お問合せ** 077-523-7146  
(公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部



## 季刊誌 湖国と文化 第182・冬号 特集 近江と芸能~忘れられた人々

芸能の多くは寺院の法会に起源があります。都に近く、豊かな祈りの場がある近江は、さまざまな芸能のゆりかごとなるとともに、舞台ともなりました。特集では、庶民に愛された説教節の元締めであり数々の能の物語を生んだ三井寺別所の魅力、謎に満ちた近江猿楽の残像、近江に残された面(おもて)の数々を取り上げ、中世の芸能の面影を探ります。また、語り物の魅力を詩人・伊藤比呂美さんの「新訳説教節」小栗判官・照手姫の道行などでお伝えします。

2023年1月1日発行予定  
<販売価格> 660円  
<取り扱い>  
県内書店、  
びわ湖ホールシアターショップ、  
滋賀県立文化産業交流会館 など  
<お問合せ・購入申込>  
びわ湖芸術文化財団  
地域創造部  
「湖国と文化」編集室  
(077-523-7146)



「湖国と文化」182号

# 劇場・舞台芸術の力

(公財)びわ湖芸術文化財団 理事長 **むらた かすひこ**  
びわ湖ホール館長 **村田 和彦**

## 共感のインフラストラクチャー

美術館に勤務していた際に出会った言葉です。アメリカのキュレーターで、SEA(ソーシャリー・エンゲージド・アート。社会的課題に関わろうとする芸術)興隆の仕掛人と言われるネイトー・トンプソンが、アートは「共感のインフラストラクチャー」だと言いました。

この定義は、芸術が個人の楽しみにとどまるものではないこと、社会にとって不要不急のものではないことを訴えているように思います。

芸術の恵みはまず個人に作用し、悲しみを和らげたり、喜びを増幅させたり、感性を刺激したりしてくれます。さらに、そうした万人に通じる普遍的な価値は、世の中に閉塞感が漂うとき、癒しの力で社会的緊張関係を緩和する働きも持っています。

それだけではありません。同じ楽譜でも様々な演奏があり、同じ演奏でも様々な感じ方があるように、人間の価値観は多様です。芸術は、それを体験し、特にそれを語り合うとき、人間の価値観の多様性に気づかせてくれます。多様な価値観を知り、互いに認め合う、そのような作用は社会の紐帯の基礎として欠かせないものではないでしょうか。

一例として具体的イメージを提供しましょう。2022年10月9日、びわ湖ホールで、北村朋幹さんのピアノリサイタルを開催しましたが、その前日、関連企画として県立美術館エントランスロビーで「北村朋幹×ジョン・ケージ」と題し、プリバード・ピアノの演奏を行いました。プリバード・ピアノとは

2017年度よりびわ湖芸術文化財団は、びわ湖ホールと文化産業交流会館の2つの劇場を持つ財団として活動をしています。これを機にスタートしたこのコーナー。劇場に関わるさまざまな方に想いを綴っていただきます。

ピアノの弦にゴムやボルトを挟み、音色を変化させたもので、ゴングのような音や、ポコポコとした奇妙な音が飛び出します。現代音楽の調べを、ピアノから聞こえるはずがない音色で聞く演奏会は、多くの人にとって初めての鑑賞体験のようで、色んな表情が伺えました。

終演後の会話でも「すごかったね」「難しくて分からなかった」「ピアノは打楽器の一種だと得心した」「不思議な音だけで心地よかった」など、通常の演奏会以上に様々な観点から色んな感想が交わされていました。

同じ空間、同じ時間を共有し、芸術の価値について語り、他の人が考える価値に耳を傾ける。価値観は同じかもしれないし違うかもしれないが、芸術を通して個々の主観の間にゆるやかなネットワークが生まれる。

少子高齢化などによる社会活力の低下、自然災害や感染症の猛威、国内外の様々な緊張関係の高まりなど、不安定で先行き不透明な激動の時代にある今こそ、芸術の普遍的な価値を味わい、多様な価値への学びを通して互いに認め合う。

このような、社会の最も深いところに作用する芸術の力を信じ、高めたいと思っています。



2022年10月8日に滋賀県立美術館エントランスロビーで行ったびわ湖ホールと滋賀県立美術館の連携企画「北村朋幹×ジョン・ケージ」

滋賀県立芸術劇場 **びわ湖ホール**

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号  
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147  
https://www.biwako-hall.or.jp/

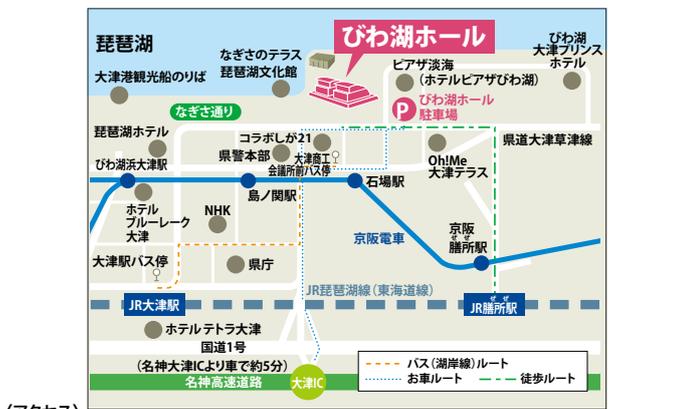
### チケットInformation

**インターネット予約** <https://www.biwako-hall.or.jp/>  
携帯電話、スマートフォン(iPhone標準ブラウザ、Android標準ブラウザ)からもチケットをご購入いただけます。詳しい推奨環境に関する表示は<http://www2.biwako-hall.or.jp/mobile/env.html/>に記載しております。携帯電話、スマートフォンの場合は[https://www2.biwako-hall.or.jp/eticket\\_mobile/](https://www2.biwako-hall.or.jp/eticket_mobile/)をご利用ください。  
※パソコンにて登録されたユーザーID、パスワードはそのままお使いいただけます。

**電話予約** チケットセンター **TEL.077(523)7136** **窓口販売** 2階チケットセンター

10:00~19:00/火曜休館 ※休日の場合は翌日、12/29・30・1/1~3は休館 ただしチケットセンターは、12/30は電話受付のみ、12/31は10:00~17:30営業

※チケット料金は消費税込の価格を表示。※( )内は友の会会員料金。※一部公演を除き全席指定。  
※一部公演を除き6歳未満のお子様はご入場できません。  
【青少年割引当日券の販売】 青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年(25歳未満)の方に、半額で当日券を発売いたします。SS~E席のみ。U30・U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い。学生証など年齢のわかるものをご提示ください。  
【シアターメイツ優待公演】 シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみでの取扱い(電話・窓口のみ)。



- 大阪から新快速で約40分、京都から約10分 名古屋から新幹線/京都駅のかえり約60分
- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、またはバス「湖岸線」約5分(大津商工会議所前下車、徒歩約4分)
  - JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえり「石場」駅より徒歩約3分
- 《駐車場のご案内》 有料 **849円** 24時間営業 料金: 7:00~23:00 1時間毎210円(4時間経過後1時間毎110円) 23:00~7:00 1時間毎110円(時間内最大料金420円)

滋賀県立文化産業交流会館 **Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development**

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137  
TEL.0749-52-5111 FAX.0749-52-5119 <https://www.s-bunsan.jp/>

### チケットInformation

**インターネット予約** <https://biwako-arts.tstar.jp>  
パソコン(座席選択可)、スマートフォン(座席選択不可)から24時間いつでもチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブン・ファミリーマートでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。(一部公演、席種を除く)

【利用方法】①チケット予約・購入 ②チケットの受取(会館窓口 or セブンイレブン・ファミリーマート)  
※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日までにお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかります。

**電話予約、窓口販売** 直接、下記までお問い合わせください。  
**滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749(52)5111**  
※月曜休館。月曜日が休日の場合はその翌日以降の日曜日でない日。年末年始(12月29日~1月3日)



- 【アクセス】  
(電車でお越しの方)  
JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分  
(お車でお越しの方)  
北陸自動車道米原インターより約10分 または 名神高速道路彦根インターより約15分